



PCで



タブレットで



スマホで



移動不要



安心安全



いつでも

テクノ経営オンデマンド
ネット配信 技術セミナー

HPからも
お申込OK

インターネット環境があればOK (テキスト付)

～生産性向上に繋げる～ 製造現場・間接部門に於ける 見える化の基本

セミナー番号
A-122

(約120分)

見える化とは、企業活動において判断材料となる情報を誰もが客観的に認識でき、改善に向けた行動へとスムーズに移行できる環境を構築する取り組みです。問題解決や業務改善に役立つため、さまざまな業種の企業で推進されています。見える化により、社員それぞれの業務の進め方を共有できます。「見える化」=「目で見える管理」は、人に行動を開始させ、その行動によって企業・現場の情報共有が目的です。見える化は手段であって目的ではありません。まず、見える化の推進をすることによって、自分たちの仕事や管理のあり方がどのようになりたいのか、改善後の「めざす姿」を職場中で話し合っって定義します。【見えない部分の見える化】が推進されれば現場は、更なる成長に繋がりが生産性も向上します。

【主な講演内容】

- ・見える化とは・・・？
- ・日々の見える化
- ・作業の見える化・標準化について
- ・見える化に於ける重要点
- ・間接部門(業務)の見える化
- ・見える化についておさらい

担当講師

コンサルタント 田中 順

食品製造メーカーに10年間にわたり生産性向上・食品安全衛生・労働安全衛生リードタイム短縮・人材育成と、現場マネジメントを経験。現在コンサルタントとして現場改善、経営改善を実践中。



(各回先着50名限定公開) 受講料、日程、お申込みは別紙(申込用紙)をご参照ください